



# 県内 景気動向

平成21年5月1日  
日本銀行水戸事務所

## 概況

県内景気は、輸出の減少に内需の弱まりが重なり、大幅に悪化している。

この間、企業収益は減少し、企業の業況感も著しく悪化している。

輸出は、海外経済の悪化などを背景に、大幅に減少している。設備投資も大幅に減少している。個人消費は、雇用・所得環境が厳しさを増す中で、弱まっている。住宅投資は弱含んでおり、公共投資も引き続き低調に推移している。

生産は、内外需要の減少や在庫調整圧力を背景に、大幅に減少している。

消費者物価は、石油製品価格の下落などを反映して、小幅ながら再び前年比マイナスとなっている。

金融面をみると、預金は小幅な増加を続けており、貸出はやや高めの伸びを続けている。

企業の資金繰りは繁忙感を強めている。

## 実体経済

### ◎個人消費

個人消費は、雇用・所得環境が厳しさを増す中で、弱まっている。3月の大型小売店売上高は、衣料品や高額商品が依然低調であったため、引き続き前年を大きく下回った。4月も基調に特段の変化はみられなかった模様である。

3月の乗用車新車登録・販売台数は、普通車の不振を中心に、引き続き低調裡に推移した。

3月の家電販売額は、テレビ、DVDレコーダーや白物家電（冷蔵庫等）などが好調であったため、全体としても堅調であった。4月は、エコ・アクション・ポイント導入発表後の買い控えもあって、やや伸び悩んだ模様である。

### ◎公共・住宅投資

公共工事請負金額は、3月は独立行政法人による大型工事発注から前年を大きく上回ったものの、月毎の振れを均してみれば引き続き低調に推移している。

新設住宅着工戸数は、分譲住宅を中心に弱含んでおり、3月も前年を下回った。

### ◎鉱工業生産

鉱工業生産は大幅に減少している。2月は一般機械、電気機械、化学などで特に減少が目立った。この間、在庫は依然として高水準にある（2月の鉱工業生産は現行統計作成開始以来の最低を、また、2

月末の在庫は同最高を記録した）。

### ◎雇用・所得環境

雇用・所得環境は厳しさを増している。企業の雇用過剰感が強まっており、有効求人倍率も大幅な低下を続けている。一人当たり賃金も弱めに推移しており、雇用者所得は減少している。

## 物 価

2月の消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、石油製品（ガソリン、灯油）価格の下落などを反映して、小幅ながら再び前年比マイナスとなった。

## 金 融

### ◎預金・貸出

県内金融機関の3月末預金残高は、13兆6,168億円と、都市銀行・信託銀行、地方銀行を中心に前年比2.0%の増加となった。

また、3月末貸出残高は、7兆5,885億円と、地方銀行を中心に前年比2.8%の増加となり、やや高めの伸びを続けた。

### ◎貸出約定平均金利

県内金融機関の3月末貸出約定平均金利（ストックベース）は、2.492%（うち短期2.440%、長期2.431%）と、さらに低下した。

### ◎企業金融

企業の資金繰りは繁忙感を強めている。金融機関の貸出態度が「厳しい」とする先も増えている。

## 企業倒産

3月の企業倒産（負債総額100万円以上）は、件数が高水準となったほか、負債金額も大型倒産の発生から高止まりした。

茨城県主要経済指標 (前年比、%)

	20年度	21/1	21/2	21/3
大型小売店売上高	▲ 2.4	▲ 4.8	▲ 7.5	▲ 8.9
乗用車新車登録台数	▲ 8.9	▲ 17.5	▲ 23.9	▲ 21.4
〔うち軽〕	0.9	▲ 2.5	▲ 4.5	▲ 10.3
公共工事請負金額	0.4	▲ 21.6	▲ 21.0	81.2
新設住宅着工戸数	▲ 7.2	▲ 33.1	▲ 16.8	▲ 8.6
〔持家〕	0.7	▲ 24.8	▲ 12.7	8.1
産業用電力消費量 〔大口電力〕	▲ 7.5	▲ 23.4	▲ 30.2	▲ 30.7
鉱工業指数〔生産〕	-	▲ 25.3	▲ 30.6	-
鉱工業指数〔出荷〕	-	▲ 26.9	▲ 32.2	-
鉱工業指数〔在庫〕	-	10.6	12.6	-
有効求人倍率（倍）	-	0.62	0.55	-
倒産件数（件）	226	11	24	29

※ 鉱工業指数は季節調整済  
倒産件数の対象は負債総額1,000万円以上